新年初刊の時事新報

明年一月一日の時事新報は三十二面以上の大新聞を發行し且つ當日添へて頒布する

新年附錄は海戰畫帖の筆者たる若林海軍大尉の圖畫論畫師中に錚々の聲ある淺井忠氏の揮毫に成れる**帝國軍艦富士、八嶋**の圖にして渺々たる海上二艘の高く日章旗を檣頭に揭げ舳艫相銜んで進行する處、威風凛然海國人士の理想を表現して遺憾なし圖面は縱一尺五寸横二尺十餘度摺りの精巧美麗なる着色石版畫なり而して月極めの購讀者には之を無料進呈し當日の時事新報に限り購讀を望む諸彦に對しては本紙附錄合せて金十錢を以て需に應ずべし右に付當日の時事新報は印刷高平日に倍蓰し**廣告の効力**も非常なるを以て廣告依頼者特に多し依て當十二月**二十八日迄に申込**まざる廣告依頼者に對しては不本意ながら當日の紙面に掲載方を斷る事あるべし

社說

海軍軍人の待遇

西洋の海軍國を見るに官民共に軍人の待遇に心を用ふること一方ならず英國の如きは有名の海軍國にして其國柄の然らしむる所とは云ひながら其待遇の優渥なる我國人の想像に及ばざるものあり例へば英の政府にては何れの國の所屬たるを問はず軍艦に限りては酒煙草類の稅を免除して商人をして廉價に賣渡さしめ又紳士豪商の輩は海軍々人と交際するを名譽とし內外人に拘はらず挙て熱待するの風にして現に濠洲に在る英人の如きは我練習艦の寄港する度ごとに夜會を開き盛宴を張り音樂なぞ催ほして殆んど狂する許りに歡迎するは我軍人の常に氣の毒に思ふ所なりと云ふ彼の海軍國に於ては人民に海軍人優待の氣風斯くの如く盛なると同時に政府の待遇法も亦自から厚くして俸給の如きも他の職務に割合して豐なるは勿論、其昇進の法も特例を用ひて奚爲を怠らざるが如し（外國にては選職の將校にても特に功績の著しきもの又は社會に聲望の盛なるものは現役同樣昇進せしめて自から釣合を保つの例なるが如し英國の海軍中將コロム（Colomb）氏が大佐にて勲績を爲り退職中に中將に昇進したるが如き其一例にして宜しく參考す可き所なり）各國の例を見るに何れの海軍にても准士官より士官に進むの途を開て永年の間、兵役に服したる年功者を優遇する中にも伊太利の如きは此途よりして昇進したる士官を特に水兵出身將校と稱し其數現に百三十五人（內陸軍大尉相當のもの二十五人、同中少尉相當のもの各五十五人）ありて遊船所、海兵團等の陸上勤務に服せりと云ふ我海軍に於ても自から是種の規定なきに非ざれども實際には全く空文にして未だ其例ありしを聞かず前號にも述べたる如く水兵の卒より下士に進み又下士より准士官に昇るに[illegible]れたのも四個年（陸上勤務なれば五年と六[illegible]少[illegible]れども是れは只文面上の[illegible]定[illegible]に[illegible]は少なく[illegible]十四五[illegible]士官に昇りて二十五[illegible]可きすの[illegible]は下級十圖より上級二十圖に上りて十數年間精勤勉强の結果僅に此俸給に過ぎずと云ふ准士官及び下士の輩が現役滿期の後、再役を慫慂するもの甚だ稀れなるも怪しむに足らず曾て或る一下士の述懷談なりと云ふを聞くに余は海軍に從事すること十二年僅に一下士官たるに過ぎざるに同時に鄕里を出で陸軍に入りたる友人は既に士官の地位を得たり同鄕人に對しても面目なき次第なり且つ余は此長年月間、一回も陸上勤務を命ぜられたるみとなし不幸も亦甚だしと云ふ可し此頃鄕里の一人より海軍兵志願の旨にて相談を受けたるが余は直に返書を認めて海軍には立身の機會なし寧ろ目的を轉ずるの得策なるよしを告げたり云々と云へり以て其實情を知る可し左れば一には年功者を優遇し一には兵員の氣風を奬勵するの目的を以て彼の空文の規則を活用し陸上勤務、海岸防禦等には積年の熟練經驗を利用するみと希望に堪へざる所なり又軍人の俸給增加の事に關しては我輩の曾て述べたる所あり今その一節を再記せんに

海軍人は陸軍人の如く平生家族と同棲し人生の最大快樂をも云ふ可き團欒共樂の便宜もなく常に勤務居所を轉ずるの必要あり又被服食料等の航海用品は普通の物よりも高價なる等の事情あり殊に危險の點を云へば海軍人の平生は恰も陸軍人の戰地に在るに異ならずして常に疾風暴雨怒濤狂瀾等天然の强敵と戰はざるを得ず又責任の輕重を云へば一萬何千噸の主戰艦に艦長として乘組員六七百名を率ゐる大佐の責任は千名の士卒に長たる聯隊長に比して如何なる相違あるや一萬噸以上の巨艦の存亡は國力に關係あるのみならず艦長たる身分は其佐官たるに臨なく時としては一國を代表して其處置挙動の如何は國際問題をも爲り開戰の端緒をも爲るの場合なきに非ず又學術の上より云へば海軍人に學術の熱遠を要するは無論にして即ち陸兵は六個月間の訓練にして稍や差支なけれども水兵は二個年の後に非ざれば用を爲さず陸軍士官は卒業後三個年にして充分隊務に慣るれども海軍士官が艦長の信任を得て航海中當直士官たるを得るは大尉と爲りて五年の後即ち卒業後十一個年の後なりとす云々

動勞に割合して報酬の多きを望むは一般の人情如何ともす可らず若しも海軍人の俸給にして永く今日の儘に差置くときは有爲の軍人は次第に海軍を去りて他の業に就くみと自然の勢なり殊に今後大に注意す可き一事は就船奬勵法の實施に付き我航海業は遽に振起の運に向ひ續々海外の航海を企てゝ何れも海員の不足を訴ふる其不足は即ち海軍人を他に轉用するの道を開くものにして人心報酬の多きに向ふは恰も水の低きに就くが如し人々海軍籍に入るを好まずして他に方向を轉じ軍艦はたひ〳〵缺員するも乘組員に缺乏を告ぐる如き成行なしとも云ふ可らず云々

（本年四月二十三日の社說）

〔本年四月二十三日の社說〕

世人の常なり前論に述べたる所、既に充分なりとして敢て多言せず戰艦は只今日に際し國民が此點に就て大に考ふる所あらんみとを希望するものなり

○動物の機械觀（二）

掬月亭主人　譯述

我々は必ず動物機械で可酸化形に於てある故に可燃性である所の食物がペプトーンに變じられた尙ほ其上に更に調理を受けて後ち血液循環に入り活生機械に入ると云ふみとは知てます亦ふの食物の大なる分數は利用されずに排泄されて之と共に燃燒成果の著しき分量が肺臟を通て空中に逸散し又その高の知られてない分量が皮膚より蒸發し去ると云ふみとも知てます勢力の大なる分量は熱の形に於て生物機系から離れ去られます即ち皮膚から發射致します、筋の總べての仕事は其外部の物に於て爲されて例へば步行又は手の働きの如き身體の運動と成るとしても又は消化、循環、呼吸の如き生命に必要なる自動的過程に應用されたとするも若しくは又知覺力、觀察及び思想の如き單に動物生命の特質を示す所の過程に應用されたとするも三者その執れたると問はず是亦消費された勢力で御在ます然れども凡そ勢力は活生機系若しくは其他如何なる機系に於ても消滅されて居ませんし又消滅されるみとは出來ません斷ち入る所の總べての勢力は出て行く所の之と同量なる勢力に依て平均されて居ます凡そ活生機械の總べての內部の自動の仕事は第一に呼吸と第二に體中の血液が長く狹き通路と毛細管とを通して循環する其間遲速に大體、多分歸す可きで御在ませうち此仕事は心臟の仕事で御在まして其全量が熱に再變せらるゝ熱の全部としない所が大部を成して居るのでされなければ成りません即ち此熱は生物機系から逸散せらるゝ

肺臟は通常生體に於て燃燒の成果として普通に知られてる化合物を吐出します然るに動物機系の溫度は事情の必要上、其全部を通じて水の沸騰點より低くして通例、華氏の百度よりも少く殆んど大氣の溫度にまで下るのは每度の例なるのみならず魚の場合に於ては其內に棲息して居る水の溫度にまで下て居ます左れば此燃燒即ち酸化は斯の如く限られてる溫度に於て起らなければ成りません故に我々が彼の「熱機關」の爐に於て殺しく知てる過程とは全く違てるものに相違ない則ちみは寧ろ鐵の鏽る事、木の腐る事若しくは化學者の試驗室に於て起る過程に就て見る所のものに類似して居るので御在ます然るに愛に不思議なるは有機物が非活生天然的產物の作用に由て碎かれる事は——若し主にとせざるも多くは——顯微鏡的寄生動物の働きから起ると云ふ一節で御在まして此事實は即ち動物は熱機械の不足を訴ふる其不足は即ち海軍人を他に轉用するの道を開くものにして人心報酬の多きに向ふは恰も水の低きに就くが如し人々海軍籍に入るを好まずして他に方向を轉じ軍艦はたひ〳〵缺員するも乘組員に缺乏を告ぐる如き成行なしとも云ふ可らず云々

（本年四月二十三日の社說）

世人の常なり前論に述べたる所、既に充分なりとして敢て多言せず戰艦は只今日に際し國民が此點に就て大に考ふる所あらんみとを希望するものなり

成蹟程內に[illegible]で此蹟程の[illegible]熱の比例[illegible]せ仕遂げ[illegible]動的勢力[illegible]御在ます[illegible]も蒸氣の[illegible]動が止む[illegible]せん、[illegible]比例ばかり[illegible]譯者申す[illegible]學校[illegible]サース[illegible]節が御在[illegible]「蒸氣が[illegible]が高けれ[illegible]る時の[illegible]低が烈[illegible]だけ大[illegible]ど力の[illegible]「蒸氣は[illegible]られて[illegible]將に放[illegible]を保た[illegible]其人の工[illegible]れてるか若し[illegible]るか若し[illegible]間世界に[illegible]此割合は[illegible]でも實施[illegible]しながら[illegible]機關の方法[illegible]物機械の蹟[illegible]度蹟程を[illegible]に出來ない[illegible]左れば動物[illegible]はないと云[illegible]は假令ひ[illegible]受取り得ら[illegible]即ち動物[illegible]る可き[illegible]